

学校復帰を目指す不登校生徒の支援団体の無料参加も受付 第3回「すららカップ」を1月1日より開催 ～家庭学習の習慣を身に付ける～

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦）では、学校法人や学習塾を通じ提供する e ラーニング教材「すらら」のユーザーが努力量を競う「すららカップ」を2012年1月1日（日）より開催します。

「すららカップ」は、偏差値や点数ではなく、「総学習時間」や「クリアユニット数」といった、“どれだけ努力したか”を競う大会です。本大会の目的は、「習ったところが理解できず、授業についていけない」といったユーザーにも、「学び直し」の努力をする機会を作り、家庭での学習習慣を身に付けていただくことです。ランキングは、学年関係なく、エリアを人数ごとに区切ったブロック別と全国の2種で、ランキングの上位3位までに入賞した方には賞状と賞品を贈呈します。

また3回目を迎えた今回は新たに、学校復帰を目指す不登校生徒の支援団体（NPO 法人やそれに類する非営利団体）は無料にて参加いただけます。「すらら」は、インターネットを通じてパソコンで学ぶことができる「対話型アニメーション教材」です。1つの単元は10～15分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成となっており、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイルのため、学校の授業を受けられていない方も無理なく理解を進めることが可能です。家庭学習の習慣をつけていただくことで、新たな一歩を踏み出す後押しができればと考え、今回は参加対象の枠を広げることとしました。

前回の「すららカップ」（2011年7月1日～8月31日開催）では約19,000名が参加し、前々回の約15,000名より大幅に参加者が増加しました。学習時間部門において、全国1位となったのは、福島県郡山市在住の被災地支援（※）登録のユーザーです。このユーザーは中学二年生でサッカー部に所属していますが、原発事故の影響で夏休みの部活動が3時間に短縮され、帰宅時間が早くなったことから、すららで学習を開始し、「すららカップ」にも参加しました。

今後も、教育に携わる企業として、ユーザー様の学習をサポートできるよう、教材・企画の開発に力を注いでいきたい、と考えております。

【すららカップ概要】

- ◆実施期間：2012年1月1日（日）～2月29日（水）
- ◆対象学年：問わず
- ◆参加対象：お申込みいただいた導入校、導入塾のユーザー、
不登校生徒の支援団体（NPO 法人やそれに類する非営利団体）
※不登校生徒の支援団体については、すららの使用料無料
- ◆科目：英語・数学・国語
- ◆範囲：小5～高3の履修範囲
- ◆賞品：（全国）1位：ニンテンドー3DS、2位：iPod nano、3位：Panasonic ネットリフレ
（各ブロック）1位：Panasonic ポケットドルツ、2位：RHODIA&カバーセット、
3位：図書カード1,000円分
- ◆最終結果発表：3月3週以降を予定

（※）被災地支援

通常、学校法人や学習塾を通じ提供している e ラーニング教材「すらら」を、岩手県・宮城県・福島県・茨城県の被災地、および、その周辺地域において、休講その他の状況で十分な学習が不可能な生徒達の家庭内学習を支援することを目的に、ご希望の個人に対し、2011年8月31日まで無料提供を実施。

NEWS RELEASE

■eラーニング教材「すらら」とは

【学習範囲】 小学5年生～高校3年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学・国語

【特徴】

○Point 1 「弱点自動判別システム」搭載

分からない理由が明確になれば、あとはその弱点を克服するのみ。克服のためのドリルも出題。

○Point 2 理解度に応じてカスタマイズされた問題を出題

勉強がいやになる理由のひとつは、「難しすぎる」あるいは「簡単すぎる」問題に取り組まなければならないということ。「すらら」は理解度に合わせてカスタマイズすることで、「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されるため、学力レベルに関係なく、すべてのお子様が、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めていくことが可能。

○Point 3 「理解」と「定着」を一体化

「すらら」はスモールステップで「根本理解」を促すアニメーションによるレクチャー（授業）と、理解したことを「定着」させるためのドリルが一体化。これによって、「わかる」喜びと「解ける」楽しさを同時に味わいながら、お子様は学習を進めることが可能。

<参考>これまでのeラーニング教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ

「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないうえやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でないと、集中力が続かない。

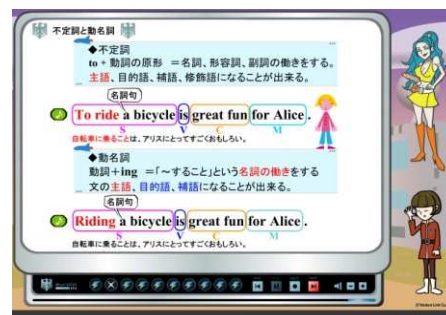
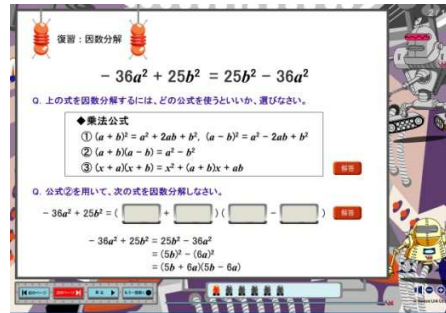
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ

「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないうえ、学力の高い生徒でないと一人で学習を進めることが困難な傾向がある。

3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ

非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。



■ 株式会社すららネット 会社概要

- 設立：2008年8月 ○ 資本金：6,285万円 ○ 所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：eラーニングによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社URL：<http://surala.jp/>